

中酪情報 No.548

2013年11月30日発行
毎号奇数月末発行

発行：一般社団法人 中央酪農会議

編集・発行人：内橋政敏

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-1-12 コープビル9F

TEL:03-3219-2611(代) FAX:03-3219-2622

ご意見・ご感想をお寄せください。

読者の皆さまにもっと本誌をご活用いただきたく、より良い誌面作りに向けて努力してまいります。本誌へのご意見やご要望、ご感想がございましたら、電話・FAX・ホームページにて下記の「中酪情報」編集部までお寄せください。皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

宛先及びお問合せ先

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-1-12 コープビル9F

一般社団法人 中央酪農会議「中酪情報」編集部

TEL:03-3219-2611(代) FAX:03-3219-2622

<http://www.dairy.co.jp/>

(中酪HP「お問い合わせ」ページよりアクセスできます)

編集後記

横浜で10月28日から11月1日の5日間にわたり開催された国際酪農連盟 (IDF) ワールドデイリーサミット (WDS) 2013には、世界56カ国から2,100名余りの酪農関係者が参加しました。今回のサミットで特記すべき特徴の一つは、多くの酪農家による積極的な国際交流が実現したことです。それは会期中の公式プログラムにとどまらず、会期前に実施されたドイツとイギリスからの参加者を対象に行われた国内酪農視察、エンターテイメント・レストラン船ロイヤルウィングでの「酪農家の集い」、酪農家の国際ネットワーク作りに向けた「朝食会」などでも見られました。開催国としては参加者の評価が気になるところですが、閉会後の記者会見で、IDFのジェレミー・ヒル会長が、「今回の日本でのWDSは、参加者数、内容の多様性などの点から、過去最高のレベルだった。今後のIDFの活動にも良い影響を及ぼすことだろう」と総括したことが、評価の高さを物語っています。

来年のWDSはイスラエルで開催されます。これを機会に、最先端技術を駆使して、世界トップクラスの生産効率を実現している同国酪農を視察してみたら如何でしょうか。